

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	敬老バス支援事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	高齢者支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	石井 由美子			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市内在住の65歳以上の方が20人以上で組織した団体	意図	高齢者の交流の場を広げ、健康で生きがいのある生活を送れるようになる。
事業内容	高齢者団体の視察研修やレクリエーション実施等のためのバスを貸し出すもの。			
事業開始から現在までの状況変化	高齢者団体の視察研修やレクリエーションの送迎に市が委託したバスを利用することで、高齢者の交流の場を広げ、健康で生きがいのある生活を提供する。			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
		利用回数	235	233	224	回	
	利用人数	7,202	7,437	6,987	人		
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 前年度と利用回数はあまり変わらないものの、利用人数は減少している。今後とも高齢者の親睦、交流の機会に活用していきたい。	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		14,577,114	14,054,704	27,809,002	障害者団体への貸出、子供たち対象のレクリエーション等の公益的事業での貸出（目的外の公用貸出）が増えている。目的外使用貸出については福祉目的のみとし事前に年間利用計画を各担当課から提出させている。		
事業費（b）（円）		9,306,114	9,249,204	23,110,602			
うち一般財源		9,306,114	9,249,204	23,110,602			
職員給与費(c)(円)		5,271,000	4,805,500	4,698,400			
人役・職員(人)		0.70	0.70	0.70			
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

事務事業の業務改善について

今年度(H29)の改善計画	平成30年度以降は、車両をリースし運転業務は委託することになるため、規則等を改正する。
今年度(H29)に実施した取組	規則を改正し、平成30年度からは車両をリースし、運行を業務委託することとし、事業費を迎えつつ同等のサービスを提供することとした。

取組の課題	リース車両で事業を行うことから、運行業務委託の業務内容について検討が必要。
今後(H30以降)の改善計画	課題等が発生した場合は、車両のリース会社、運行業務の委託先と連携をとりながら、事業を実施していく。